

食品に関するリスクコミュニケーションアンケート集計結果(平成17年10月21日開催:さいたま市)

参加人数 328 名
アンケート回答者数 217 名

回答率 66%

Q1 ご自身について、ご回答ください。

1 消費者	10	(4.6%)
2 食品等事業者	164	(75.6%)
1 農林水産業	0	
2 製造・加工業	146	
3 卸売業	6	
4 小売業	5	
5 業界団体	4	
6 その他	3	
3 マスコミ関係	2	(0.9%)
4 地方公共団体職員	30	(13.8%)
5 その他	11	(5.1%)

Q2 本日の意見交換会の開催について、何でお知りになりましたか。

1 ホームページ	93	(44.9%)
1 厚生労働省	73	
2 農林水産省	17	
3 他のホームページ	3	
2 新聞記事	0	(0.0%)
3 雑誌記事	2	(1.0%)
4 その他	112	(54.1%)
行政案内文(製造・加工業)		
業界案内(製造・加工業)		
知人(消費者)		
食の安全サポーター(消費者)		
仕事の関係(製造・加工業)		
上部団体(地方公共団体)		
保健所(地方公共団体)		
HACCP連絡協議会ニュース(製造・加工業)		
同業者(製造・加工業)		
県生協連(その他)		
本社(製造・加工業)		
乳業速報(製造・加工業)		

Q3 本日の「食品に関するリスクコミュニケーション」に参加された目的は次のどれですか。(当てはまるものを全て)

1 HACCPについての知識をふかめるため	119	(26.2%)
2 厚生労働省の食品安全行政の取組の内容をしるため	123	(27.1%)
3 農林水産省の食の安全・安心に向けた取組の内容を知るため	77	(17.0%)
4 リスクコミュニケーションの取組について知るため	120	(26.4%)
5 常日頃から抱えている食品の安全性に係る意見を行政に表明するため	8	(1.8%)
6 その他	7	(1.5%)
生産側の安全はよく監視されているが、売り手の安全衛生は大手は良いが、中小、スーパー、商店は普及されていない。その面を知るためです。(消費者)		
リスクコミュニケーションとは何かを知るため(食品等事業者)		
農場から食卓までのHACCPに係わる問題点を探るため(地方公共団体職員)		
食の安全について多方面の意見を聞いてみたいと思った(食品等事業者)		
消費者の意見を聞いたかったため(食品等事業者)		
子供たちに食の大切さを伝えたくて(地方公共団体職員)		
この種の催しを通じた消費者の意識動向(食品等事業者)		

Q4 演者からの説明についてお伺いします。その説明内容について、十分の理解することができましたか。		
1 できた	39	(18.1%)
2 おおむねできた	153	(70.8%)
3 あまりできなかった	24	(11.1%)
4 できなかった	0	(0.0%)

SQ1 (Q4で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方)

十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。(当てはまるものを全て)

1 説明に専門用語が多い	5
2 資料がわかりにくい	4
3 聞き取りにくい	2
4 説明が早すぎる	9
5 その他	9
リスクコミュニケーションがわからない(食品等事業者) 時間が短すぎる(食品等事業者) もう少し事例を(食品等事業者) 何が言いたいのかわからない(その他) 司会者との対談方式がよい(食品等事業者) 内容が中途半端(食品等事業者) リスクコミュニケーションの定義がわかりにくかった(食品等事業者) HACCPの内容の具体的説明がなかった(地方公共団体職員) 短すぎ、時間がない(食品等事業者)	

SQ2 (Q4で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方)

どのようなことがなされれば、よりわかりやすくなると感じますか。(当てはまるものを全て)

1 行政から一方的に講演するのではなく、司会者等との対談方式で進める	3
2 絵、図等をスクリーンに投影する	7
3 食品衛生法等の参照条文や、データ集を配布する	7
4 その他	8
一般の意見がでにくい(食品等事業者) もう少しわかりやすく説明する(食品等事業者) テーマを出して答えさすのはどうだろう(その他) 一方的だと飽きる(食品等事業者) 目的(対象)の絞り込み、明確化(食品等事業者) テーマを選択して時間を配分した方がよい(食品等事業者) HACCPの内容の農業分野についてデータ集出してほしい(地方公共団体職員) もっと消費者との双方向的な意見の交流を望む(食品等事業者)	

Q5 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。意見交換会はわかりやすく、議論の内容等について理解できましたか。		
1 できた	21	(10.2%)
2 おおむねできた	136	(66.3%)
3 あまりできなかった	45	(22.0%)
4 できなかった	3	(1.5%)

SQ1 (Q5で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方)

理解できるようにするためにはどうすればよいと感じますか。(当てはまるものを全て)

1 第三者の専門家が、公正中立な立場で意見交換の発言内容を平易に解説する	5
2 事前に意見交換のテーマを募集し、司会者等との対談方式で行う	24
3 行政への質疑応答形式にし簡潔活平易に回答する	13
4 その他	12
質問と答えの論議がかみ合っていない。話が一方通行(食品等事業者) 消費者の意見が不足(食品等事業者) 目的(内容)の明確化(食品等事業者) ディスカッションに入るまでの時間がかかりすぎです(消費者) 内容が難しい(食品等事業者) 難しすぎる(食品等事業者) 民間の意見をもっと聞きたい。現実を(食品等事業者) 何となく一方通行である(食品等事業者) 消費者側の質問がほしかった(その他) テーマが広すぎて質問が思いつかばなかった(食品等事業者) パネラーが多すぎて意見交換が少ない(地方公共団体職員) 本題の内容そのものの理解がしづらい(リスクコミュニケーション)(その他)	

Q6 本日のリスクコミュニケーションの内容についてお尋ねします。満足できましたか。

1 できた	6	(2.9%)
2 おおむねできた	115	(56.1%)
3 あまりできなかった	71	(34.6%)
4 できなかった	6	(2.9%)

SQ1 (Q6で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方)

理解できるようにするためにはどうすればよいと感じますか。(当てはまるものを全て)

1 意見交換の時間が短い	5
2 説明が一方的で意見交換になっていない	13
3 意見交換の進め方に問題がある	22
4 意見交換して欲しい意見が採り上げられない	8
5 その他	32

リスクコミュニケーションは、リスクに対する共通認識を深めてリスクを回避しようという事だと思えます。どういう事が問題かは、食品別で行わないとダメかと。(食品等事業者)

テーマのレベルが低い。専門的すぎる。(食品等事業者)

具体的・現実的につっこんだ問題の討議がなく、形式的なリスクコミュニケーションが主で物足りない。(地方公共団体職員)

内容が難しい(地方公共団体職員)

消費者の意見が不足(食品等事業者)

ディスカッションの目的がわかりづらかった(食品等事業者)

消費者の意見がほとんどなかった。(食品等事業者)

目的の明確化(食品等事業者)

今日のテーマについての理解の違い消費者が具体的に日々の暮らしの中で不安に思っていることに対する理解は得られない会議だった。(消費者)

もう少し論点絞るべき(食品等事業者)

質問の本質にせまっていない(地方公共団体職員)

食の安全確保とHACCPのテーマの割にそのかわりについての議論が少なかった(食品等事業者)

思った以上に話題の範囲が広く思われました。(食品等事業者)

意見交換になっていない。(地方公共団体職員)

これからという形です。(食品等事業者)

難しい(食品等事業者)

何をやらうとされたのか理解できない。(食品等事業者)

専門用語が多く理解しにくかった。もっと消費者の参加率を高めて平易な内容のコミュニケーションを目指した方がよい。(食品等事業者)

リスクコミュニケーションのあるべき姿が明らかでないことがわかった。(食品等事業者)

目的が明確でないために何について意見交換するのかわからない。(食品等事業者)

消費者の意見が少ない。(食品等事業者)

テーマが漠然として何を意見交換すれば良いかわかりにくいので、テーマを絞って欲しい。(食品等事業者)

事前に集めた意見が生かされているように感じられなかった。(食品等事業者)

事業者がほとんどなので消費者がもっと出席するよう努力すべき(食品等事業者)

リスクコミュニケーションについての講義が必要。深意がわかりにくい。(地方公共団体職員)

聞く側も本当に理解しているのか、意見の交換と認識の平等化が必要では。(食品等事業者)

もっと細かな例を挙げての検討会として欲しい。(食品等事業者)

コーディネーターの方は、質問がなかったときに出すテーマ(皆が納得できるテーマ)を事前に決めておいて欲しい。(食品等事業者)

具体的な事例を挙げての説明が欲しい。(食品等事業者)

時間が短いため、話し方が早すぎる。(食品等事業者)

会議の目的、意図がはっきりしていない。(その他)

Q7 食品の安全確保とHACCPについてお尋ねします。食品の安全確保とHACCPの何が問題だと思われますか。

従業員への教育は当たり前。ですが、やはり子供からのHACCPの教育と習慣をつけて欲しい。(食品等事業者)

一律の仕組みになっており、現状の規模別の浸透が不十分。考え方は理解できて実際に取り組める仕組みができていない。(食品等事業者)

消費者、食育教育を学校の中で進めるべき。(食品等事業者)

形はできているが、本当の意味でのHACCPが機能していないと思われる。(食品等事業者)

HACCPはシステムであるがため、管理が機械的になり易く、末端従業員の創意工夫の意欲(参加意識)を損ねかねない場合がある。この点について配慮することが必要でないか。(食品等事業者)

HACCPの使い勝手があまり良くないことは確かです。(食品等事業者)

企業では、維持が大変(金、労力)(食品等事業者)

HACCPの成果が見えてこない。HACCPを導入する目的が未だに不明確。(食品等事業者)

生産・製造現場に概念自体の浸透がない。時間がかかりかかると思われる。(地方公共団体職員)
安全確保のためのツールとしては、HACCPは有効であるが、事業者や消費者が主体的に評価できる仕組みが必要と思う。普及は難しいが。(地方公共団体職員)
HACCPは食品の安全確保を目的として、自主的に取り組むべき事と考えているが、認証とセットで話されることが多い。(日本では総合衛生管理製造過程≒HACCPだから?)このことを消費者等に理解してもらうのは製造業者としては難しい。HACCPは自主的に取り組み「やる」ものであって「とる」ものではないということを理解してほしいと思う。(食品等事業者)
任意制度ということで、安全確保の徹底しきれないのでは。(地方公共団体職員)
HACCPは品質管理システムの一部分であり、企業として品質管理システムを構築しないと安全は確保されない点。(食品等事業者)
既存の問題について対応できるが、生物のまま異性(変異等)による潜在問題には対応できないシステムである。(食品等事業者)
食品の安全を考えるための正しい知識、科学的知識の普及、啓発学校教育での導入必要。(地方公共団体職員)
携わる人が末端消費者をいかに想うか。システムの構築より意識して良いものをつくる、生産することが大切。消費者との対話も大切であると想う。(食品等事業者)
HACCPが何か特別な特殊な製造方法であるかの誤解を受けることがあります。HACCPシステムの消費者への周知がまず必要と思います。次にゼロリスクの食品がないことの浸透を行わないと、消費者の安心感は得られないと考えます。(食品等事業者)
原料(農産物)の安全性の証明(農薬etcに関して)(食品等事業者)
国民の衛生に対する考え方について(地方公共団体職員)
現状にあったマニュアルの確認と記録の確認とがきちんできていない。(食品等事業者)
危害分析力と検証能力の確保(食品等事業者)
消費者の誤解とそれに基づくメーカーの営利主義(生食の助長、自然物は良で加工品はダメなど)(地方公共団体職員)
検証、自己管理と同時に行政や消費者の監視。まづは義務化でしょうか。とりあえずGAOからきちんとしてほしい土台を。(消費者)
食品の絶対安全はないという理解。頭ではわかっていても安全と安心の違い(消費者)
小売業までは品質管理・衛生管理が実施されていても、消費者が衛生管理に無知すぎる。(食品等事業者)
生産から製造、物流、消費迄の一連のシステムの構築がないと製造だけのリスクマネジメントではリスクコミュニケーションは片手落ちと思われる。(食品等事業者)
マニュアルの検証PPがあればCCPIは不要なのか?PPが守られないので事故がある。CCPの検討、検証が重要である。(地方公共団体職員)
リスク回避の負担を誰が持つのか(地方公共団体職員)
生産現場、物流現場、消費者への理解と普及の方法。関係機関は仕組みばかりつくっているところ。(地方公共団体職員)
日本の文化にどのように適用させていくかが不足。(食品等事業者)
安全確保上必要ならばHACCPを法的に義務づけるべきだと思う。事業者がお金がないのでHACCPを義務づけなかったのはおかしい。(食品等事業者)
一般衛生プログラムとモラル(食品等事業者)
パートのおばちゃんはHACCPという言葉は知らないが、食中毒という言葉にはパッと反応する。パートのおばちゃんにも食の安全をやさしく教えてあげる仕組みが必要。(食品等事業者)
消費者の理解がなければHACCP取得と実践についての努力が実らない。(食品等事業者)
原料、製造、消費者各間での同一の理解を得られるような情報伝達手段が必要。(食品等事業者)
HACCPの実施イコール食品の安全確保とはいえないことですが、リスクコミュニケーションの拡大により、より安全確保が完全に近づけるものと思われる。(食品等事業者)
安全(食品)確保=HACCPでいかに安全確保が大事な。自然界での有毒物質をどこまでおさえるか。(食品等事業者)
安全な食品の原料となる農産物の確保、国内農業への支援が必要ではないか。「安全」が求められる以前の農業でもかなり衰退しているのに、より厳しい条件を生産現場に課すと農業が存在できなくなってしまうと考えます。(地方公共団体職員)
PPが大切。抜き打ち査察も必要だろう。実効があるものでなければよくないだろう。文書管理と衛生管理が何をするのかわからないというのは理解できる。文書管理が国民性により下手なためかシステムに問題があるのか?指導の認識が形式的ではないか。(食品等事業者)
現在承認している5業種以外の業種、中小企業にも中小企業なりにどの様に対応しようとする予定か。国の安全行政のあり方。(食品等事業者)
費用対効果と消費者の認知度(地方公共団体職員)
生産サイドの負担増(時間、手間、経費)(食品等事業者)
消費者が口にする食品のうちHACCPの承認施設で製造されているのはごく一部だということ。※食品製造の中小企業をどう指導していくか。(食品等事業者)
HACCPのシステムは良いと思うが、それを継続することが難しいと思います。(地方公共団体職員)
HACCPで安全確保ができないというのがパネリストの大概の意見かと思う。本来のフィロソフィーのようなものが必要なのではないか。(食品等事業者)
自信とおごり マーク(食品等事業者)
パネラーが多すぎる。役所の立場をへらして(消費者)
流通、販売、消費者を含んでいない点。(食品等事業者)
消費者のボトムアップと事業者のレベルアップ(コンプライアンス)(食品等事業者)
政策・制度は整ってきており、良い方向だと思えます。あとは、現場で確実に取り組まれているか検証した結果が見えてくると安心につながると思えます。(消費者)
申請文書をそろえるのに多大な労力を要する現状に問題がある。申請→承認を受ける段階で疲れ切る制度になっている。(食品等事業者)
リスクコミュニケーションの中でHACCPという課題が難しく消費者の方で理解できないのではないか。HACCP自体が消費者に知られていない。(地方公共団体職員)
総合衛生管理製造過程の取得がなくてもあっても同じ商売が出来る。安全確保の為に一定の規制のもとで進めるのが本筋ではないのか。(食品等事業者)
従業員の意識を高めること。ついては、検証と文書化。(食品等事業者)

HACCPを取得したからとして食品の安全を確保するための基本の部分がまだまだと思う。それをいかに向上させるか。(食品等事業者)

中小企業も参加できる制度を検討すべき。(食品等事業者)

一般衛生管理のレベルアップが必要な状況の中で、承認をとることが目的になってしまい、地に足のついた食品安全の原点を忘れがちになってしまうことが問題だと思います。(食品等事業者)

業者と消費者の意識の違い。(食品等事業者)

安全と安心の乖離。リスク分析の具体的な推進方法。消費者への正しい情報の提供。(地方公共団体職員)

原材料に起因する危害の防止について、肉ではかなり不安な意見があったが、輸入者に対する食の安全を業者任せになっている傾向がある。(食品等事業者)

総合衛生管理製造過程ですとパネリストの発言にありましたように労力的経済的に大きな負担があります。継続的な、トップダウンの強い意志表明と働きかけが必要だと思います。(食品等事業者)

一般衛生管理が弱い点。(食品等事業者)

HACCPは自主管理であって、外部監査が国である認識が低すぎる。(国は・・・。)(地方公共団体職員)

HACCPはメーカーとして最低限の施設管理であり、かつ、消費者に対するメーカーの付加価値を高めるものと認識している。HACCP承認だけで食品の安全確保はできない。日々の衛生管理に努めてもらいたい。(地方公共団体職員)

生産者から消費者すべての人における食育。(地方公共団体職員)

衛生面だけでは安心まで確保出来ない。(食品等事業者)

安全確保のベースは「人」厚生省と労働省が一緒になったのは良いことですね。(消費者)

共通認識が形成されていないところ。(マスコミ関係)

末端の従業員へのHACCPの浸透、HACCPチームだけ理解している(食品等事業者)

HACCPメリットがない。HACCP管理しているプラスすくない。とつてもとらなくても一緒。(食品等事業者)

HACCPで管理されていても、食品の安全確保とつながっているか不安である。今の事件例をみてもHACCP承認された工場だったりしている。HACCPの基準が疑問に残る。(食品等事業者)

製造者、小売業者の安全・安心と消費者の安全・安心の認識がかみ合っていないし、又それイコールとしてHACCPが認識されていないこと。(食品等事業者)

HACCPは一般にはまだマイナーで、大手企業などでないと取り入れられていない。もっと普及活動か広報活動が必要と思われる。(食品等事業者)

現状に対して理想が入ってしまっているのでは(食品等事業者)

厚生労働省と農林水産省とのかわり方と、更新制が義務化について(食品等事業者)

HACCPを行っていくうえで、規則と実情との相違が大きすぎる。(食品等事業者)

職員の衛生知識の向上、人(職員)の管理(食品等事業者)

記録の検証に重点を置いては、システムが形骸化しがち。文書化だ、記録だけで実際の衛生管理に手が回らなくなってしまう傾向が出てくる。文書化、記録を要求されることが多すぎる。(食品等事業者)

農産物、製造の自主衛生管理の充実。(食品等事業者)

HACCPは衛生管理(危害分析)のツールであり、安全確保のための手段であることのアピールが不足しているのではと思います。(地方公共団体職員)

取得後の取り組み意識(食品等事業者)

総合衛生管理製造過程の承認制度そのものを推進するよりも、その土台となる一般衛生管理についての業者指導について行政は力を入れていくべきと思う。まず、土台作りが必要では？(食品等事業者)

最終的には性善説と性悪説と考えています。過度の要求はかえって手抜きを生み、大切な衛生管理、安全確保が失われると個人的に考えています。あくまで主観です。(食品等事業者)

HACCPの承認は都道府県によって内容が異なるのですか。(食品等事業者)

現場で本当に導入しやすいものになっていない気がする。(その他)

検証作業と記録作成を維持、継続する仕組みがよくわからない。ソフト面ではなくハード面(人員含む)はどの様にすべきか。(食品等事業者)

安全確保と安心というところに意見の食い違いがあり、消費者の納得が得られない。(食品等事業者)

総合衛生管理製造過程の文書多すぎ、厚生局の指摘、検証事項全部やったら会社つぶれる。もっと現実を見て。(食品等事業者)

一般衛生管理の部分は本来は営業許可を出した時点でできてはいるはずであり、認可を出した自治体の指導が不十分なのではないか。(食品等事業者)

HACCPを任意で行っている点。土台ができていないとしても、安全確保は絶対的条件。消費者に納得を得られるような情報の正しい公開をお願いします。(その他)

消費者の方々がHACCPに関してどう思っているのかわからない。(食品等事業者)

HACCPの承認を得るための土台ができていない部分が多いということだったので、その土台の部分をしっかりさせる取り組みが各分野が必要であると思う。(食品等事業者)

HACCPを取得・承認されてもメリットがあまりないのではないかと。(食品等事業者)

従事する者の取り組みに対する意識の低さ(食品等事業者)

HACCPの解釈が人によって異なる。(食品等事業者)

健康危害を防止する基準が多い気がします。(食品等事業者)

食品の安全を努力している食肉関連の方々は、消費者にもっとPRしてはいかがでしょうか。(その他)

中小、零細企業まですそ野を広げていけない点があるのではないかと。(食品等事業者)

システムを導入すれば即食品の安全につながるとは限らない。(食品等事業者)

製造工程で全ての製品を検証できないので、HACCPの中身が重要である。(食品等事業者)

安全確保のためにはフードチェーンに関する全体の意識向上が必要(消費者含む)(食品等事業者)

品質保証の観点で、HACCP(総合衛生管理製造過程)管理をPDCAとして運用すること。(食品等事業者)

HACCPと総合衛生管理製造過程との違いが説明されていたが、承認に対する安全性が確保された事の検証はどの様なことであるのかがよくわからない。(食品等事業者)
HACCPシステムの形骸化、企業の努力が一番に大事だが、承認あるいは承認更新の仕組みも工夫が必要。(食品等事業者)
農場から食卓まで正しい知識のレベルアップ(食品等事業者)
HACCPが消費者の段階に於いて食品の安全が確保されていないことが大きな問題。雪印乳業等の事例(地方公共団体)
食品に対する安全性は、これからも追求される問題であり、この対応について全て確保するのに各企業はクリアできているのか完全に末端まで認識できているか問題である。(食品等事業者)
現在の総合衛生管理製造過程システムは製造業中心。農場から食卓までをうたうならISO22000と同様のシステムを構築すべき(食品等事業者)
HACCPが日本で普及が困難なのが管理運営基準、施設の基準の土台ができていない部分が多いとの事なので、そこに視点を置かないとHACCPが発展するのだろうか？(食品等事業者)
HACCPの危害の例として食中毒の話はよく出てくるが、メーカーとしてみると、食中毒よりも一般のクレーム(異物)が身近である。そのような視点も不安ではないでしょうか。(食品等事業者)
HACCPを承認されるため、工場内の衛生管理を力を入れているが、実際業務担当者が意識向上できるような評価を会社だけでなく人間に対するものがあると、更に安全確保につながると思います。(食品等事業者)
HACCPと安全確保が消費者の安心に結びついていない。消費者の心理、感情の面について対策が必要である。(食品等事業者)
HACCPに対する消費者の理解が低い。消費者に食品の安全確保をアナウンスするためにも積極的にPRしてはいかがでしょうか。(食品等事業者)
100%完全に動いているHACCPシステムはないと思う。食品の安全確保に対して全く関係ないとは思わないが、最近思う疑問としてHACCPシステムとはそんなに大切なものなのか？(食品等事業者)
官庁のおしきせな管理をしていませんか。自主とは云いながらも、規制がかかりすぎではないか。HACCPを承認しつつ安全管理について担保をさけているように思われる。(食品等事業者)
HACCP(とくに総合衛生管理製造過程)は書類による「しぼり」が多すぎてHACCPシステムのための書類ではなく書類のための書類となっている。又、ISOと違い、全社的というよりはむしろ一部の人間だけのHACCPシステム構築となりやすい(品目による承認であり、工場単位での取得でないため関係のない部署の人間には触れる機会がないため部署異動などにより不安となる)。(食品等事業者)
製造業なので売り上げにつなげたい。消費者への理解と周知が必要。(食品等事業者)
総合衛生管理製造過程について限られた業種のみで増える動きしか見えないが、もう少しレベルを下げ多くの業種に広げ、全体業種のレベルを上げる必要がないでしょうか。東京都や県においても取り組み始めているところもあるので国としても考えていただきたい。(食品等事業者)
HACCPの的確な運用を実現するための工夫(食品等事業者)
行政から国民に対してHACCPの説明をもっとお願いしたい。いくら業者が安全に努めても消費者の安心はメンタルなものであり、消費者教育が必要である。(食品等事業者)
一般衛生基準が十分に行われる指導が未だ不十分(食品等事業者)
HACCPの機能推進と確保(食品等事業者)
製造・加工、流通、販売については、HACCPを取り入れ運用すれば安全確保は可能と思われるが、一次生産者、消費者については、加工業者から見ると完全には安全確保ができない。これについては、行政の監視、啓蒙等がもっと必要と思われます。(食品等事業者)
HACCPといいながら製造基準が全てと行政は思っている。HACCPシステム、プランをしっかり見て指摘できるようにメーカーもスパイラルアップできる指導すること。関東はよいが北海道はだめ。(食品等事業者)
HACCPがあまり認知されていないこと、認証維持にコストがかかりすぎる事、又、このシステムが”マスト”ではないこと。(その他)
HACCPの承認が得られたからといって必ずしも食品の安全が確保されるわけではない。(その他)
消費者が一番注意するところは表示と思いますが、表示でアレルゲンについてクロスコンタミが予想される場合の表示方法に不安を感じる。次にポジティブリストについて最終の加工食品で安心できる表示方法がないように思うが、農薬(残留)が検出されない結果を表示して良いか？(食品等事業者)
教育(その他)
小売店側への浸透が遅れています。又、売り手側は買い手のニーズをつかみ切れてないから。(消費者)

Q8 本日のリスクコミュニケーションの進め方についてお尋ねします。
今回のリスクコミュニケーションでは、第一部をテーマに関する基調講演、第二部にパネルディスカッションと意見交換としています。リスクコミュニケーションの構成、テーマの選定、募集方法などリスクコミュニケーションのありかた全体について、良かったと思う点、改善すべきと思う点につき記載ください。
1 良かったと思う点
パネリスト、出席者にバラツキがあって良かった。(食品等事業者)
基本的(基礎的)な知識を講演して頂いたことは良かったのではないかと。(食品等事業者)
種々の立場のパネラーが一同に会しての話が聞けたこと。(食品等事業者)
他の業種の方などの広い意見を聞く事ができた。(食品等事業者)
パネルディスカッションでかなり本音部分を聞いて参考になりました。(食品等事業者)
リスコミのスタートとしてはとても良かったと思います。(食品等事業者)
各企業の意見がきけたこと。(食品等事業者)
パネリストの方達が自分の言葉で語って頂いているのが良かった。(地方公共団体職員)
テーマのHACCPについての解説→パネルディスカッションの流れはわかりやすい。(地方公共団体職員)
基調講演では、ハザードに関する考え方が理解できた。(コレラ菌、赤痢菌等も食中毒細菌に含める等)この構成は良いと思う。製造業者としては流通事業者の前では率直な意見は言いづらいです。でも製造の代表のような話をしてくれたので良かったです。(トリインフルエンザ等のこと)リスクコミュニケーションと直接関係はないかもしれませんが、行政の意図や考え方を事業者としては知りたいものです。今回は総合衛生管理製造過程、HACCPシステム、HACCPプランをどう使い分けているかを知ることが出来て良かったです。(食品等事業者)
知らないことが多く出てきて改めて勉強になった。(地方公共団体職員)
基調講演(食品等事業者)

生産者から消費者までの代表がパネラーになっていたこと。(地方公共団体職員)
生産、加工、流通、消費者、国、地方の立場の方の参加は良かった。(食品等事業者)
時間配分。(地方公共団体職員)
パネリストの中で民間の方の話はよく理解できた。(食品等事業者)
広い範囲の方々のお話を聞けたこと。(食品等事業者)
HACCPシステム、総合衛生管理製造過程のプランの違いが分かり易く説明された。(食品等事業者)
多様なパネリストが出席されている点。(食品等事業者)
多方面の分野代表の意見が聞けた。(地方公共団体職員)
HACCPへの理解ができた。HACCPをとったから安全とはいえないことも。今のHACCP以前の問題かも。(消費者)
HACCP導入の問題点がよく理解できた。(地方公共団体職員)
色々な立場の人の考え方を知ることができた。(地方公共団体職員)
時間的に余裕があり考えられる時間がもてたこと。(地方公共団体職員)
食の安全についてそれぞれの段階での取り組みが聞けたこと。
パネリストの方々はいっしょうけんめい自分の意見を述べられていた。(食品等事業者)
様々な立場からの意見が聞けた。(食品等事業者)
各分野の識者がいて幅広い意見が聞けた。(食品等事業者)
立場情報の聴集がされ興味を持てた。(食品等事業者)
情報の開示、消費者の知識向上にまで意見交換ができてよかった。(食品等事業者)
流通サイドの意見は参考になった。(食品等事業者)
よい試みと思うので、継続的に行って欲しい。(食品等事業者)
リスクコミュニケーションという考え方をパネルディスカッションとして実施したこと。回を重ねていくべきだと思うこと。(食品等事業者)
食品についてプロフェッショナルに近い人選だと思いました。(食品等事業者)
消費者に近いから生産者の方まで幅広い意見が聞けたこと。(食品等事業者)
基調講演はわかりやすくよかった。(食品等事業者)
リスクコミュニケーションの場が設けられたことは良いことだと思います。(消費者)
行政、業界の方の生の声が聞くことができた。(食品等事業者)
わかりやすく説明していただいて良かったです。ご苦労様でした。(食品等事業者)
パネリストにあらかじめ話をしてあったのは良かった。(食品等事業者)
今回は内容の満足度で「あまりできなかった」と答えましたが、このような機会があることは今後に対して可能性を示すものだと思います。(食品等事業者)
基調講演内容の対象が不明であるため基本を話して頂けた。(地方公共団体職員)
色々な立場の人がパネリストにいる。(食品等事業者)
パネラーが多かったこと。(その他)
いろいろな業界や行政の人が集まって話が聞けたことが良かった。立場により考え方がちがうというのも認識した。(食品等事業者)
初めてだから今後どうなるかが問題である。(食品等事業者)
問題点が明らかになった点。(食品等事業者)
第1回ということで、何をすべきかについて、次回に向けての良い叩き台になったと思います。(食品等事業者)
いままでのHACCPについて再認識出来た。(食品等事業者)
リスコミについて検討されたこと。(地方公共団体職員)
民間パネリストの本音が出ている。(食品等事業者)
各分野の専門家の取り組みについての話が聞けてよかった。(食品等事業者)
酪農から消費者の立場の方までで構成された事。(その他)
行政、製造業、生産業、小売業それぞれの見解が聞けた事。(食品等事業者)
基調講演により、知識が深まった事。(食品等事業者)
意見交換の時間があること、意見交換でコーディネーター、パネリストがリスクコミュニケーションをしているのが良かった。(食品等事業者)
流通側の努力がうかがえました。(その他)
生産から消費者に近い専門分野の意見が聞けた。(食品等事業者)
意見交換、参考資料内容。(食品等事業者)
生産者である農場から販売される小売までの話が聞けて良かったと思う。(食品等事業者)
大手スーパーなど、様々な部門からの参加者がいたこと。(食品等事業者)
各業界、行政代表者がパネリストとして集まったこと。(食品等事業者)
総合衛生管理製造過程とISO22000の考え方が良くわかった。(食品等事業者)
先生方の生の声が聞けた。(食品等事業者)
総合衛生管理製造過程は土台もみていたのは、よく理解できた。誤解をしていました。厚生・農水もリスクがあるのが大前提とされていたのはおもしろかった。(食品等事業者)
食に関しての意見交換ができるようになった事が良いと思います。これから内容を改善していけば良い。(食品等事業者)
いろいろな立場の方の意見が聞けました。(食品等事業者)
最前列にいる大手スーパーさんの話が一番具体的で参考になった。(食品等事業者)
生産者～行政まで、全ての業種のパネラーがおられて、様々な意見を聞けて良かったです。(食品等事業者)
各業者の代表の本音話が聞けたと思う。(食品等事業者)

リスクコミュニケーションという言葉の解説にはよく理解できた。(食品等事業者)
第1回としてはやむおえないと思う。(食品等事業者)
パネリストの意見がきけるのは良かった。(食品等事業者)
各方面の代表者の意見が聞けた。(川上から川下の方)(食品等事業者)
一部の業種ではあるが、それぞれの立場で行っている、安全性、リスクに対する取り組みが分かって良かった。しかし、それだけ、一般に安全性の取り組みが理解されていないと思われる。(食品等事業者)
本音を言っていた。(食品等事業者)
川上から川下までトータルで意見交換できたこと。(その他)
HACCPについての基本的考え方、総合衛生管理製造過程についての違いが良くわかった。(食品等事業者)
発言者の向学心は良い。(消費者)

2 改善すべきと思う点

パネラー同士の意見交換が足りない。パネラーに消費者の立場の人がいない。(意見もない)(食品等事業者)
もう少し商品の流れにそって意見交換して欲しい。パネリストに2~3人の消費者を入れてください。(食品等事業者)
内容についても表現をできるだけ平易に。対象者は誰なのか？ポイントを絞り込んで欲しい。(食品等事業者)
ISO22000の点についても、関係ないではなく行政に都合が悪いコミュニケーションそのものをしない態度はよくない。(食品等事業者)
事前に何かの質問にしぼり、それに対する意見交換した方が分散せず良いかと思う。(食品等事業者)
基調講演の資料は業界等の担当者は良く理解できるものと思われたが、消費者にはハードルが高いものではないかと思われました。(食品等事業者)
食品等事業者としてこの種のリスクミに参加した目的は、討論を通じて(聴講して)消費者がフードチェーンのどの部分にあたるのはFOODの何に対して不安を感じ、何を求めているか、それに応える社内施策を構築するため。消費者が沢山参加するような工夫をしてほしい。(食品等事業者)
意見はそう簡単に出るものではないと思います。もう少し事前の情報が必要では？(食品等事業者)
生産者から消費者までで最近生産者、製造者が取り組みつつありますが、現在販売者の取り組みはどうなのだろうか？販売店はどんな保存方法でどんな客に販売したかの記録はあるのだろうか！(食品等事業者)
何のための基調講演か理解できない。(食品等事業者)
事前に寄せられた質問等の時間が多くあれば良かった。(質問自体は少なかつたかもしれないが)リスクコミュニケーションからちよつとずれる場面があった。このような事も議論として良いと思いますが。(地方公共団体職員)
テーマのしぼり方が中途半端？ある特定の商品を取り上げてフードチェーンを考えると、リスクコミュニケーションをどうしようとかテーマ設定にミクロとマクロの視点があっても良いのでは。(地方公共団体職員)
土曜、日曜の方が一般消費者は出やすいかも。(地方公共団体職員)
浸透していないことでの難しさ。専門的？用語が多かつたようにも感じる。(地方公共団体職員)
意見交換はテーマをしぼったほうが良い。(食品等事業者)
パネリストの各自の話が長すぎました。消費者の代表は消費者団体の代表がよいのではないか。午後1時から午後5時までですと時間が長すぎるように思われました。(地方公共団体職員)
意見質問について会場で出してくる内容は難しい為、事前の質問調査の内容を上記立場でそれぞれの意見を聞くことも興味があつたが…。(食品等事業者)
農水省の人は具体的な説明がなく、良くわからなかつた。これから中身をつめて回数をしていけばわかるようになっていくと思います。(地方公共団体職員)
具体的な問題例等をあげ討論をする必要がある。農場から食卓までのテーマとあてていない。(地方公共団体職員)
活発な意見交換ができるよう開催時間曜日などを検討されると良いと思う。(食品等事業者)
具体的な事象を基に(例えばでもよい)話をすすめないと深まらないと思った。(食品等事業者)
少し専門的すぎるのではないか。(食品等事業者)
散満な感じがした。(地方公共団体職員)
はじめのリスクコミュニケーションとはは不要。リスクコミュニケーションがわかつて参加したと思う。長すぎる。基調講演を短くしたと思う。もう少し消費者参加を促すような内容、名称、お知らせの工夫を！(消費者)
HACCPの承認をうけてもそれが直接販売につながらないという部分についてももう少し本音がききたかつた。(消費者)
1人5分の持ち時間のルールを守れないパネラーが多い。(食品等事業者)
なぜ意見が少ないか。本当はもっと意見はあると思います。人数参加者が多いため意見を述べにくい環境であつた。(地方公共団体職員)
基調講演でいままぜ農場から食卓までHACCPなのか実際に進める上での注意点等をぜひ聞きたかつた。(地方公共団体職員)
消費者も含めてわかりやすくしたほうがよい。(地方公共団体職員)
消費者の意見が不足。なぜHACCP、総合衛生管理製造過程取得工場で事故が起きるのか分析をきちんとして意見を述べてもらいたかつた。(食品等事業者)
ディスカッションのテーマをもっとしぼりこんだ方がよい。(食品等事業者)
パネラーが多い。発言が少ない方がいた。(食品等事業者)
広い分野の対象が集団が集まる様な工夫を考えて欲しい。パネラーが積極的に意見を述べる進め方。(食品等事業者)
消費者の意見をもっと聞きたかつたがやっぱり専門用語が多すぎる気がした。(食品等事業者)
消費者の参加を増やすこと。現状のような状況ではリスクコミュニケーションになっていない。(食品等事業者)
消費者が20名程度の参加とのことだったので、もっと消費者の方々が多く出席できるよう工夫したほうがよい。消費者の方への情報提供の意味でも。(食品等事業者)
パネリストの方が多様にわたり多くいらつしやつたのに、自己紹介と取り組みの話が多かつた。あるテーマについてそれぞれに聞くような方式がよかつたのでは。(食品等事業者)

第一回目ということもあり、主題(何をやりたいか)が明確でなく、そのため意見が出にくかったものと思う。(食品等事業者)
わかりやすい書類や掲示が必要と思われる。(食品等事業者)
消費者の為のリスクコミュニケーションを行って下さい。全体の参加者の一割にも満たない消費者しかいない会議とは思っていませんでした。(消費者)
パネラーが多すぎる。コミュニケーションと題しつつ「この件に関する質問は受けつけません」と制限するのはおかしいと思う。(地方公共団体職員)
第2部の時間が長く感じる。テーマは消費者が参加しやすい内容が良い。無理に時間を延ばす必要はあまりないと思う。(地方公共団体職員)
パネリストをもう少ししぼる。意見交換の時間をもっと長く。(食品等事業者)
パネラーの数が多く、一人一人の話(自己紹介か?)があり、その時間が長く、全体的にダラダラしたように思います。(地方公共団体職員)
もっと具体例を上げて欲しかった。(食品等事業者)
当初、事前意見を配布資料とすとなっていました、どうなりましたでしょうか?後日、参加者に送付いただきたいものです。(その他)
パネラーが多すぎる。役所の立場をへらして、消費者の立場から、見えてくるもの見えないものの発言が欲しかった。(消費者)
消費者団体、生協なども入れる(参加)べきだと思います。(食品等事業者)
4時間はやはり長い。パネリストが多すぎる。(食品等事業者)
「これはリスクコミュニケーションです」と明言して会を開くことに驚きました。(良いとも悪いとも思いませんが、リスクコミュニケーションが定着してきた証拠でしょうか)(消費者)
テーマがむずかしく消費者に知られていない。(地方公共団体職員)
消費者の方がどの様に考えているか聞けなかったこと、マスコミの方が意見を述べていたが、場所、日時を検討するとか。(食品等事業者)
消費者団体も出席すべき。(食品等事業者)
農場段階での安全性に関する話がもう少し欲しかったです。消費者サイドのご意見をもう少し聞かせて欲しかったです。(食品等事業者)
業者と消費者の比率を半々にする。業者が多すぎる。(食品等事業者)
基調講演の内容。(地方公共団体職員)
パネリストにも図や表のビジュアルの準備がほしかった。(食品等事業者)
総合衛生管理製造過程の承認対象となる食品事業者にとっては今回の講演は聞き慣れたものでした。逆に一般消費者の方にとっては手法論のまゝに概念的な説明があってもよいのではと感じられました。(食品等事業者)
パネルディスカッションについては、まとまりがなくよくわからなかった。(食品等事業者)
コミュニケーションをはかるにあたり、業界からの意見をもっと取り入れるべきである。(地方公共団体職員)
基調講演のレベル設定。(地方公共団体職員)
HACCPだけでなく食の安全を中心にした方が良かったのかも?(地方公共団体職員)
パネリストで説明がわかりづらい人がいた。(食品等事業者)
基調講演はいらなかったと思う。最初からパネルディスカッションで良い。国VS会社(食品等事業者)
パネラー発言時間は5分と短いのではないのでしょうか。(その他)
全体の意見交換について、会場が広すぎて人数が多すぎて本音トークはむずかしいと思う。もっと小規模で座談会っぽくした方が良い。このような大規模な形では講習会として絞った方が良いと思う。(食品等事業者)
生産者、小売業者がほとんどで消費者の出席が少ないのに消費者の考えの題材が多過ぎた。このような内容なら出席者を検討すべきでは。(食品等事業者)
行政、メーカー、消費者、流通、学識者、業界団体等が同一のテーブルでコミュニケーションを取って欲しい。(食品等事業者)
第1回ということで、手さぐりの状態であった。(食品等事業者)
ディスカッションで意見が出されていなかったように、リスクコミュニケーションの理解度が低いため本題に対する議論が十分行われなかったような気がします。その点では情報の伝達方法、PRIについて改善が必要と考えます。(食品等事業者)
大きな内容なので、時間なく早口な部分が多くなりわかりにくい。(食品等事業者)
消費者の意見等具体的な質問がなかった。パネラー同志の意見質問をしてほしかった。(食品等事業者)
省庁サイドは、独自色が出ていないと感じました。(食品等事業者)
もっと事例集を取り入れた方が良い。又、HACCPに対しての運営での問題点、こうした方が良いといった事。(食品等事業者)
あらかじめ上がってきた質問をすべて紹介して欲しい。(本人がいなくても)(食品等事業者)
消費者が入っていない。実際のコミュニケーションの時間が少なすぎる。パネリストに報道も入れてほしい。(食品等事業者)
テーマが大きすぎて議論が広すぎてまとまらない。もっとテーマをしぼるべき。(食品等事業者)
パネリスト多すぎ。運営へた。(食品等事業者)
曜日、時間の検討。(食品等事業者)
消費者にも多く参加してもらおう事。(食品等事業者)
パネルディスカッションにおいて、意見があまり出なかった事。どうすれば活発になるのか?(食品等事業者)
一般消費者がなじみやすいタイトルにした方が良い。(食品等事業者)
「農場から食卓まで」の流れがもっとわかりやすく把握できると良いと思いました。「食品の安全確保とHACCP」で何をテーマにディスカッションするのか分かりにくいので、もう少し焦点を絞った方が良いと考えます。リスクコミュニケーションのテーマが十人十色なのでテーマを絞った方が良いと考えます。(食品等事業者)
認定制度は役立つものとしたい。(その他)
もっと消費者が参加しやすい方法を考えるべき。(食品等事業者)
一時間毎の休憩をとる。消費者代表のパネリスト。(食品等事業者)

ポイントをもう少し絞って議論すべきと思う。(食品等事業者)

パネルディスカッションにおいてメーカーからの参加者がいるべき。(製造実務者)(食品等事業者)

パネラーをもう少し減らした方がよい。(食品等事業者)

パネリストの方の意見が、リスクというテーマで整理されていない(業界説明レベル)方がいる。(食品等事業者)

アンケートが充分理解されていない。(事前に)(食品等事業者)

「食品の安全確保とHACCP」と大きなテーマであり質問しにくかったです。(食品等事業者)

「リスクコミュニケーション」に対する基礎的なお話を伺った後にディスカッションに移行した方がわかりやすい様にした。(地方公共団体職員)

最後の会話をもう少し司会はさばくべき。人が多く議論が全面的にスラーっと流れるような感じである。生産者が多く大人しかった感じがする。(食品等事業者)

農場から食卓まで幅広く取り上げた為に私自身の考え方、まとめがうまく整理できなかった。(食品等事業者)

パネラーが多く、しぼり込んだ意見交換ができていない。具体的な事例がほしかった。(食品等事業者)

もっと本音が聞けるコミュニケーションができると良い。(食品等事業者)

基調講演の内容は、他のセミナー等でよく話されていると思います。食中毒以外のリスクについても取り上げた方がよいと思う。(食品等事業者)

概論と具体論・具体策を分けて進める方法が望まれる。(食品等事業者)

できれば流通のパネラーを入れて欲しい。工場～販売までの商品の取り扱いについて知りたい。(食品等事業者)

①意見交換するには人数が多すぎるのでは？ほとんどの人がただ聞きに来ているだけで発言しようと思っていない。主催者は大変だと思うがもう少し何かの区分けをして少人数で開催したらどうか。②前半の基調講演等、本当に必要ですか？(食品等事業者)

厚生局としてPRを考えて欲しい。駅には何ら広報が無い。(食品等事業者)

基調講演はあまりにも常識すぎるので、リスクコミュニケーションについての集いのだからもう少しリスクコミュニケーションに関わる話をもらいたかった。又、各パネリストの自己紹介を兼ねた説明が長すぎて、ディスカッションの時間が減った。不要と思われる。(食品等事業者)

消費者の参加が少ないこと。実質的な意見が聞けなかったことが残念である。(食品等事業者)

事前質問に対する回答があまりなかったような気がする。(食品等事業者)

食品安全確保に関する各論的基調講演が欲しい。(食品等事業者)

事前に知らせるテーマが(内容が)もう少しあった方がよい気がする。(食品等事業者)

パネリストの話の内容は前もって配布しておき、意見、質問が出やすいようにした方がよいのではないのでしょうか。意見が出なかったように思われる。(食品等事業者)

基調講演の内容、ターゲットは？(食品等事業者)

対象が広範囲すぎた。テーマを絞った方が良かったのでは、事前に提出された質問をもっと取り上げてほしい。(その他)

今、話題のアレルゲンとポジティブリストについての消費者に何がどう変わるか？次回に行ってほしい。(食品等事業者)

日頃、直接買い物して安全衛生等をチェックしていない人が意見を述べています。ヨーカドーQCの人のように客サイドに立つ人を集めてください。(消費者)

Q9 今後のリスクコミュニケーションとして行って欲しい取組は何ですか？

食品？ リスク毎にコミュニケーション行すべき。 ☆範囲が大きすぎると、議論が難しいですね。(食品等事業者)

ポジティブリスト制導入に伴う取り組み。(食品等事業者)

このような方法がリスクコミュニケーションなのか？ もっと現場に立った話が聞きたい。(食品等事業者)

ぜひ土日等にやって頂けると良いのですが、自分も業務を休んで来なくても良いので。(ただ準備される方は大変でしょうが)(地方公共団体職員)

草の根レベルの取り組みも必要でしょう。今回のようなイベント設定も重要だが、一般消費者に伝える力は感じない。同様に、町の普通のスーパーに買いに行く普通の人に訴える取組みの必要性を改めて認識している。また、それは自治体の役割と考える。(地方公共団体職員)

BSE、ノロウイルス、インフルエンザなど消費者にとって興味あるテーマはいくらでもあると思います。消費者の方々をなるべく入れるように図った方がよいと思いました。各業界にその様な会を催させることもできるかと思いました。(食品等事業者)

消費者教育についての取組について 例えば、野菜は洗って売っていると思っている消費者がいる。農薬を使うことが、すべていけないと思っていたりする。意識レベルの高い人は良いが、聞きかじりで、間違った知識をもっていたりする消費者が多い。(特に主婦をターゲットに考えていく必要がある。)それらの消費者ニーズに合わせるが良いのか、国として、流通業界として、生産・加工団体として、しっかり対応していくべきではないかと思う。(地方公共団体職員)

あらためてBSE対策(輸入牛、アメリカ産の表示問題)鶏インフルエンザ関連への消費者の理解をうながすようなもの。フードフェディズムへの理解を促すもの。生協で、「HACCP」の講座をしたら、講師としてきてもらえるのかしら。(消費者)

食の安全安心の問題とマスメディアとの関係でマスコミのあり方について(正確な情報伝達をするための)(食品等事業者)

継続してやってほしい。(地方公共団体職員)

鳥インフルエンザのニュースをプレスする際、食肉の輸入を禁止した。茨城での鳥インフルエンザのニュースでも食肉、卵の移動禁止をしたというプレスがあるが、この病気は卵、肉に何故関係しないのかを、もっとわかり易く説明が必要だと思います。USA BSEの解禁が何故できていないのかをもっとわかりやすくプレスのとき説明しないと誤解を招く。(地方公共団体職員)

BSE、ノロウイルス、インフルエンザなど消費者にとって興味あるテーマはいくらでもあると思います。消費者の方々をなるべく入れるように図った方がよいと思いました。各業界にその様な会を催させることもできるかと思いました。(食品等事業者)

BSE(消費者)

「生協」や「らでいっしょぼうや」などの組合員をパネリストに加えてほしい。(食品等事業者)

食の安全安心確保のために販売の実態として消費・賞味期限が経過もしくは近づいているために廃棄してしまっている。限られた地球の資源を大切にするために、今後はどうしたらよいのかをテーマとして取り上げてほしい。(食品等事業者)

基調講演の題名と話しの内容があてない感じがしました。私は食中毒原因菌の講義を受けに参加したわけではありません。今、国内で問題とされているBSEや鳥インフルエンザ、輸入農産物の残留農薬、食品添加物等専門的知識がない由に消費者が感じている不安はそういうところにあるのではないのでしょうか。化学物質による健康被害が懸念されている現実に対して食中毒の患者はいないからとりあげないというのでは、あまりにも消費者をばかにしていないでしょうか。消費者を対象にこういう話しをもってリスクコミュニケーションを国は行おうとしているのかと思うとがっかりしました。(消費者)

定期的に本題テーマについてのコミュニケーションを開催し、更に違った視点での御発言をお聞きたい。(食品等事業者)

残留農薬PL制(食品等事業者)

食品の表示や現場検証の状況など具体的なとりくみについても取り上げていただくことを期待しております。(消費者)

農薬、添加物 消費者から問題提起や意見を述べていただいた方が活発になると思われる。パネリストに消費者を入れた方がよいのではないか。(地方公共団体職員)

ISO22000についての問題点を討論してもらいたい。消費者の声を聴きたいのなら、HACCPだとか、ISO22000だとか、壁を作らないで、門戸を広げて考えるべきです。(食品等事業者)

組み換え食品の安全性(食品等事業者)

消費者の率直な意見を出せる環境の設定。(地方公共団体職員)

製造施設と行政、消費者と的をしぼって、リスクコミュニケーションをはかる。(地方公共団体職員)

消費者がもっと参加できる会にしてほしい。(土曜日とか日曜日の方が参加できるのでは?)(食品等事業者)

リスクに対する過剰反応による社会的ロス防止を目的に相互理解(折り合い)を得るためのシステムを確立して欲しい。(消費者)

事務局は大変だと思いますが、テーマをきめてテーマ毎に頻繁に行うことも必要かもしれません。(その他)

消費者へもっと多く参加してもらおう。又、意見収集するために手段を検討してほしい。食品の安全に対して興味のある人が多いが、おそらくそういう消費者からの意見はほとんどすいあげられていないと思われる。(食品等事業者)

リスク自体の定義を明確にし行政、民間、消費者が共通認識を持たないと議論が進まないと思います。(食品等事業者)

埼玉県で実施されましたが、今後は、各県単位で開催してほしい。(食品等事業者)

講演に関しては参考になった部分も多かったが、「リスクコミュニケーション」としては不十分だった。一般消費者にもっと多く参加してもらって、質問、討論をもっと活発にするとよいと思う。事前の質問に関して、「リスクコミュニケーション」の場で発言してもらうように予め参加者に伝えておくともよいかも知れない。(食品等事業者)

消費者参加型にして行くべきだと思います。(地方公共団体職員)

次の子供達に正確な事を伝えていく方法を検討してください。(食品等事業者)

消費者にもっと来てほしかったというのなら、時間と場所をもっと考えるべき。(私は業者対象かと思っていた。)広報のしかたも。(その他)

今回のリスクコミュニケーションの検証、効果的な行政運営のため是非しっかり。(食品等事業者)

食品に関わるできるだけ多くの方に、食品の安全についての知識を持ってもらいたい。その為の取り組み。(食品等事業者)

いろいろな和訳された言葉などがあるが、その言葉について、行政側ではどのように解釈しているか知りたい。用語の解釈集など。(食品等事業者)

一般的(教科書的)な講演内容でなく、現在どのようなリスクが問題となっているのか、消費者からの声などを多く紹介したり、どのようなHACCP管理が問題なのか事例をたくさん示して頂くと今後のHACCP管理に活かせると考えます。消費者が参加している中で、会社名を発言してから意見を言うのはあらぬ誤解を与えそうで発言できませんでした。消費者の声が聞きたいので多くの消費者を呼んで欲しい。(食品等事業者)

マスメディアの参加もほしい。(その他)

BSE、鳥インフルエンザ。(食品等事業者)

パネリスト選定にもっと消費者等を入れるべき。(食品等事業者)

具体的リスクをテーマにあげて、コミュニケーションになるようお願いしたい。(食品等事業者)

リスクコミュニケーションは行政―事業者―消費者で推進していくのが良い。企業自身のリスクコミュニケーションを行政として何か支援することは出来ないでしょうか。(これからは企業も行政任せではダメ)(食品等事業者)

消費者の意見をたくさん聞きたいです。(食品等事業者)

今後も各行政間の連携のもと、このような情報提供の場を設けて頂けると良いと思う。(地方公共団体職員)

提出している問題提起がリスクコミュニケーションにもっと取りあげられたら良かったと思う。(食品等事業者)

行政(総合衛生管理製造過程)と民間(ISOなど)を互いに集めて、議論してゆくとよいと思う。なぜかお互いにタブー視するのはおかしいと思う。(食品等事業者)

2006年5月より施行される残留農薬ポジティブリスト制の情報を望まれる。(食品等事業者)

業種毎にリスクコミュニケーションを行ってはどうでしょうか。食品全般にすると範囲が広すぎると思います。リスクについてもっと深く、意見、情報を聞きたい。(食品等事業者)

企業が行っている食の安全に対する内容を消費者側が正しく理解しているのかわかりませんが、現状を考えると、消費者が全てのような認識を持つことがある。今後は、消費者の方に多数参加してもらいパネルディスカッションしてもらいたい。消費者の不安を少しでも取り除く様な取組みにしたい。(食品等事業者)

消費者に対するPR。誤解をなく。食品は全て安全ではない。(食品等事業者)

食糧自給率が50%以下の中で、輸入食品のリスクと絡めてとりあげてほしい。(その他)

1. 会場について参加者がメモできる机を設定して下さい。多数集客より、情報は記録しないと忘れるので少人数にして、参加者用の机が必要。
2. 売り手(生産から販売)より買い手のテーマをメインにして下さい。(消費者)